

プレスリリースについて

# GVKバイオサイエンス、東京大学とGPCR（Gたん白質共役型受容体）データベースに関する提携を発表

---

2009年6月29日-ハイデラバード： GVK バイオサイエンス（GVKバイオ）は東京大学の船津公人教授とGPCR（Gたん白質共役型受容体）データベースに関する提携を発表しました。世界的に著名な船津博士は、優れた評判の東京大学化学システム工学科の教授です。

この提携では、GVK バイオが GPCR を対象にしたターゲットを収集します。船津教授はマニュアルで収集された100万以上にわたる公表と特許取得済みの阻害物質と、400万以上にわたる定量的構造活性ポイントを含む GPCR阻害物質データベースを高度なケモインフォマティクスの手段開発に活用します。Gたん白質共役型受容体（GPCR）阻害物質の化学生物と薬理学情報を国際的文献やアメリカおよび国際特許から収集構築したデータベースは、ISIS/Base DB、SD、XML およびOracleなど様々なフォーマットで取得可能です。

船津教授は東京大学で船津研究室を運営し、日本化学会情報科学部会部会長を務めています。船津研究室の主な研究テーマは、情報科学的な手法を用いて化学の様々な問題の解決を目指す新しい研究領域のケモインフォマティクスです。

GVK バイオは、SAR、PK/Tox、Clinpharmおよびバイオマーカーのデータベースを各種文献や特許、臨床試験などからマニュアルで収集する先駆的な会社です。GVK バイオでは GPCR の他に、MedChemデータベースと9個のターゲット阻害物質データベース（Kinase、Protease、Ion-channel、NHR、Transporter、Phosphotase、Transferase、Lipase、Phosphodiesterases）を有します。MedChemデータベースはメディシナル・ケミストリー文献からの情報を有します。

GVK バイオ事業開発部 **Sreeni Devidas** 副社長のコメント：「船津教授との共同研究を栄誉に感じています。この共同開発の成果は、公表と特許取得済みの並々ならぬ知識を活用する高度なケモインフォマティクス的手段開発として実を結び、さらなる新薬開発促進に活用されると期待しています。」

## GVK バイオ社

GVK バイオサイエンス社（GVK バイオ）は、アジアにおける研究サービスの先駆け機関です。GVK バイオは研究開発バリューチェーンに圧倒的な範囲の総合的なサービスを提供します。当社の 100 社以上の多彩な顧客リストには、製薬大手企業、農業化学、ライフサイエンス企業および世界的に著名なバイオテクノロジーと学術機関があります。インド国内に 5 か所の研究所を擁する GVK バイオはハイデラバードに本拠を置き、1500 人以上の社員が顧客企業の研究と成功の促進のサポートを行っています。

詳細のお問い合わせ：

情報科学営業部副社長 Sreeni Devidas GVK Biosciences Private Limited Columbia, MD 21045 電話：001-443-838-6260 Eメール: <a href="mailto:sreeni.devidas@gvkbio.com">sreeni.devidas@gvkbio.com</a> ウェブサイト: <a href="http://www.gvkbio.com">www.gvkbio.com</a>	広報部部長代理 Sharada Alvakonda GVK Biosciences Private Limited 電話：0044-743-8307768 Eメール: <a href="mailto:sharada@gvkbio.com">sharada@gvkbio.com</a>
---	---